

平成25年度 事業実績

(公益目的事業)

I	常設展示	P. 1
II	特別展示	P. 8
III	資料収集	P. 13
IV	資料管理・保全	P. 15
V	調査・研究	P. 16
VI	図書室等の運営	P. 18
VII	教育普及	P. 20
VIII	施設維持管理・貸出等	P. 37
IX	広報事業	P. 42

I 常設展示

1 本館

(1) 常設展示

江戸東京博物館 5・6 階の常設展示室 (8,934 m²) において、定期的な展示替えを計 24 回行ない、常時約 2,000 点の資料を展示するとともに、学芸員の研究成果を反映させた企画展や常設展示各コーナーで開催する特集展示を実施した。また、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的で開催した。外部機関と協力した企画展として、「発掘された日本列島 2013」展（文化庁と共催）、「幕末の江戸城大奥」展（公益財団法人徳川記念財団と共催）を開催した。

[常設展観覧者実績]

区 分	平成25年度(A)	対前年比(A/B)	平成24年度(B)
一 般	354,795人	118.2%	300,090人
学 生	26,585人	105.1%	25,294人
高校生、都外中学生	55,591人	89.9%	61,845人
65歳以上	104,308人	118.2%	88,269人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察)	298,477人	101.1%	295,335人
合計	839,756人	108.9%	770,833人
開館日数	313日	110.3%	317日
1日あたり観覧者数	2,683人	110.3%	2,432人

(2) 常設展示リニューアル

江戸東京博物館では、現行の常設展示における課題や問題点を解決し、館の発信力を強化していくため、平成22年度より東京都が設置する「江戸東京博物館常設展示リニューアル事業検討会」を開催し実施計画案を作成している。今年度は東京都との協定により、「展示改修実施設計」を実施するとともに、25、26年度の複数年で行う「展示改修施工業務」の当年度分を実施した。

(3) 企画展

「展覧会等企画検討委員会」答申に基づき、東京都江戸東京博物館のミッションに沿った企画展を4回実施した。

① 盛り場・両国—江戸庶民の行動文化—

会 期 平成25年4月16日(火)～5月26日(日)

会 場 常設展示室5階 第2企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 江戸時代から浅草と一、二を争うほどの賑わいをみせた両国について、この地域が盛り場として発展する過程を外観し、その賑わいの様子から、盛り場としてこの地域が持つさまざまな特色について、館蔵資料を中心に展観した。

担 当 石山秀和(元 事業企画課展示事業係)・丸山はるか(事業企画課展示事業係)

② 発掘された日本列島 2013

会 期 平成25年6月8日(土)～7月25日(木)

会 場 常設展示室5階 第2企画展示室

主 催 文化庁 東京都 東京都江戸東京博物館

共 催 宮内庁
 協 力 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、
 朝日新聞社、朝日新聞出版社
 後 援 全国史跡整備市町村協議会
 内 容 文化庁との共催で、最新の発掘調査の成果を公開する巡回展。近年特に注目される
 31 遺跡、430 点の出土品を紹介するとともに、文化庁の東日本大震災における文化財
 保護の取り組みについても紹介した。また、東京都埋蔵文化財センターと共催の地域
 展では、「“発掘”江戸の華 一発掘された江戸時代の出土優品展一」と題し、都内
 の江戸時代遺跡から発掘された優品を展観した。

担 当 阿部由紀洋（事業企画課展示事業係）

③ 市民からのおくりもの 2013－平成 24 年度収集 新収蔵品から－

会 期 平成 25 年 8 月 3 日（土）～ 9 月 8 日（日）
 会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室
 主 催 東京都 東京都江戸東京博物館
 内 容 過去 1 年間に新たに収蔵した資料を公開する展覧会。12 回目にあたる今回は、平
 成 24 年度に収集した 7,800 点超の標本・映像音響資料の中から約 200 点を展示し、
 寄贈者に謝意を表するとともに博物館の資料収集活動に対する都民の理解を深める
 機会とした。

担 当 事業企画課資料係（熊谷紀子、栗屋朋子、益田茂、行吉正一、西村直子、朴美姫、
 岡真理香）

④ 幕末の江戸城大奥

会 期 平成 25 年 10 月 29 日（火）～ 12 月 8 日（日）
 会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室
 主 催 東京都 東京都江戸東京博物館 公益財団法人徳川記念財団
 内 容 公益財団法人徳川記念財団が所蔵する、幕末の大奥を彩った御台所や將軍生母に関
 する資料で構成した展覧会。江戸城大奥で生活した御台所や將軍生母の暮らしぶり
 の他、実はそこに男役人が関与することによって成り立っていたという大奥運営な
 ど、知られざる江戸城大奥の一側面について紹介した。

担 当 野本禎司（公益財団法人徳川記念財団）・田原昇（事業企画課展示事業係）・
 眞下祥幸（事業企画課展示事業係）

（4）特集展示

常設展示の各コーナーの魅力をより向上させるために、時機に適したテーマの特集展示を 3
 回実施した。

① 東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催都市決定記念

「オリンピックがやってくる 1964-2020」

会 期 平成 25 年 9 月 14 日（土）～10 月 20 日（日）
 会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室
 主 催 東京都 東京都江戸東京博物館
 内 容 2020 年オリンピック・パラリンピックの東京開催決定を受けて、臨時開催した特集
 展示。1964 年（昭和 39）に東京で開催された第 18 回大会に焦点を当て、当時の人々
 を熱気で包んだ一大イベントを振り返り、アジア地域で初めてオリンピックが開催
 された東京が、改めて世界都市への仲間入りを果たした様を概観した。また、来る
 べき 2020 年大会の展望を紹介し、オリンピック歓迎の気運を盛り上げた。

担 当 新田太郎（事業企画課展示事業係）・阿部由紀洋（事業企画課展示事業係）・
 遠藤あかね（事業企画課展示事業係）

② 東海道五拾三次～江戸の旅事情 お伊勢参りと物見遊山～

会 期 平成 26 年 1 月 2 日（木）～2 月 2 日（日）
 会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室
 主 催 東京都 東京都江戸東京博物館
 内 容 昨年、開館 20 周年を記念して開催し、大好評を得た「東海道五拾三継次」展を、新たな切り口に新資料を加えて実施した。富士山が世界文化遺産に登録された事を受けて、東海道の名所から見える富士山の姿に注目し、お正月らしい華やかさも演出した。館蔵資料の優品をアピールする機会ともなった。
 担 当 江里口友子（事業企画課長）・杓沢博行（事業企画課展示事業係）

③ 2011. 3. 11 平成の大津波被害と博物館 ―被災資料の再生を目指して―

会 期 平成 25 年 2 月 8 日（土）～3 月 23 日（日）
 会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室
 主 催 東京都 東京都江戸東京博物館
 協 力 岩手県立博物館、陸前高田市立博物館、昭和女子大学光葉博物館、公益財団法人日本博物館協会
 内 容 岩手県立博物館と昭和女子大学光葉博物館との共催で行われた展覧会を、両館の協力により開催。東日本大震災から 3 年という節目の年に際し、被災地域において今なお続く被災資料の救済活動を紹介し、復興に向かう地域や博物館の取り組みについて、広く理解を図った。皇室や復興庁などの高覧にも供し、被災地支援の一助ともなった。
 担 当 江里口友子（事業企画課長）・杓沢博行（事業企画課展示事業係）

2 分館（江戸東京たてもの園）

(1) 野外収蔵（分館）

「江戸東京たてもの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。
 また四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

[入園者実績]

区 分	平成25年度(A)	対前年比(A/B)	平成24年度(B)
一 般	92,165人	107.4%	85,806人
大学生・専門学校生	9,187人	115.7%	7,944人
高校生、都外中学生	2,540人	114.6%	2,217人
65歳以上	28,774人	103.8%	27,720人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動等)	102,595人	102.8%	99,782人
合 計	235,261人	105.3%	223,469人
1日あたり観覧者数	756人	105.6%	716人

① 収蔵建造物の復元

・デ・ラランデ邸の展示、公開

平成 25 年 4 月 20 日（土）より公開を開始した。

② 情景再現事業

情景再現事業の一環で、季節ごとの催しとして、春「こどもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、秋「紅葉とたてもののライトアップ」などの各イベントを行った。

・こどもの日イベント

内 容 おつかいゲーム、ベーゴマ大会、兜・風車づくりなど、昭和の子供たちの遊びを再現。

期 間 平成 25 年 5 月 5 日（土・祝）・6 日（日）

会 場 園内全体

参加者数 10,751 人（当日来園者）

・小暑のつどい

内 容 七夕の折り紙講座や短冊に願いごとを書き込むほか、朝顔・ほおずきの鉢植え販売などで、初夏の風情を再現。

期 間 平成 25 年 7 月 7 日（土）・8 日（日）

会 場 西ゾーン・吉野家、東ゾーン・下町中通りなど

参加者数 2,024 人（当日来園者）

・下町夕涼み

内 容 盆踊り、こども神輿、夜店などによる夏の夕涼みの風情を再現。

期 間 平成 25 年 8 月 4 日（土）・5 日（日）

会 場 園内全域

参加者数 15,190 人（当日来園者）

・体験！発見！職人さん

内 容 東京の伝統工芸士を招いて、体験や見学をする。

期 間 平成 25 年 10 月 13 日（土）・14 日（日）

会 場 東ゾーン

参加者数 3,201 人（当日来園者）

・紅葉とたてもののライトアップ

内 容 園内の建造物にやさしい光を当て、夜のたてものの園の魅力を伝える。

期 間 平成 25 年 11 月 23 日（金・祝）・24 日（土）・25 日（日）

会 場 園内全域

参加者数 10,736 人（当日来園者）

・正月飾りづくり

内 容 藁を使った注連縄をつくる体験講座

期 間 平成 25 年 12 月 8 日（土）・9 日（日）

会 場 東ゾーン

参加者数 83 人（当日参加者）

・新春の昔遊び

内 容 書き初め、双六、福笑いなどの遊びとお囃子など正月ならではの催しを実施。

期 間 平成 26 年 1 月 11 日（土）・12 日（日）・13 日（月・祝）

会 場 園内全体

参加者数 5,803 人（当日来園者）

・伝統工芸の実演

江戸東京に残る伝統工芸の実演を行った。

内 容 市松人形、江戸小紋、東京籐工芸、村山大島紬、東京手描友禅、江戸べっ甲、佐賀錦、螺鈿蒔絵、寄席文字、江戸象牙、提灯文字、のれん染、ごぼうじめ、鋳金具工芸、東京仏壇、江戸表具、木工建具、江戸切子、藍染め、提灯描き

期 間 平成25年4月～平成26年3月のうち24日間
会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

・綱島家年中行事

かつての農家の年中行事を再現。

内 容 梅干しづくり、盆、梅の土用干し、十五夜飾り、十三夜飾り、大根干し、
小正月・繭玉飾り、節分

期 間 平成25年4月～平成26年3月のうち年8回

会 場 江戸東京たてもの園 綱島家

③ 学校連携事業

「昔暮らし体験」「ひじろっ子（子どもボランティア）」「教職員研修」等を実施した。

・昔暮らし体験

園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、昔の道具探しなどを実施した。

参加人数 52校 4,073人

・子どもボランティア「ひじろっ子」

夏休み期間中に、小学生の「小さな社会貢献」として茅葺き民家の掃除、民家の解説、独楽や竹馬などの遊びの指導、小金井公園桜守とともに桜の調査などを行った。

また、イベント時にはボランティアとして園の事業を支援した。

参加人数 52人

・教職員研修

小金井市等の教員に対し、学校連携での活用方法等の研修を行った。

参加人数 22人

④ こども向け教育普及事業

・クンクンとサワサワのくつろぎ時間～五感ウォーク in たてもの園/2日間 参加者数 20人

平成25年9月14日（土）・15日（日）

復元建造物の中で、畳の感触や、復元した商品の香り等を体感するといった、体験を行った。

⑤ミュージアムトーク

毎月1回（第4土曜日）に随時実施。

学芸員による復元建造物や特別展について解説した。

[内 容]

- 4月27日（土）：特別展「たてもの園と建築家たち」 早川典子（学芸員）
- 5月25日（土）：特別展「大奥女中とゆかりの寺院」 畑尚子（学芸員）
- 6月22日（土）：特別展「大奥女中とゆかりの寺院」 畑尚子（学芸員）
- 7月27日（土）：武蔵野の歴史と民俗 武蔵野郷土館のころ 松井かおる（学芸員）
- 8月24日（土）：政治家 高橋是清 松井かおる（学芸員）
- 9月28日（土）：ボンネットバスとその時代 高橋英久（学芸員）
- 10月26日（土）：川野商店と傘の歴史 高橋英久（学芸員）
- 11月23日（土・祝）：「武蔵野の歴史と民俗」展 小林克（学芸員）
- 12月21日（土）：東京のたてもの文学 湯川説子（学芸員）
- 1月25日（土）：東京のたてもの文学Ⅱ 湯川説子（学芸員）
- 2月22日（土）：鍵屋の作家たち 山崎尚之（学芸員）
- 3月22日（土）：屋根葺きと植物 川上香（学芸員）

⑥武蔵野の歴史と民俗～江戸東京たてもの園収蔵品展～関連事業

・記念講演会

10月12日(土):「武蔵野郷土館の発掘調査と考古学」

岡田淳子氏(北海道立北方民族博物館館長)

坂詰秀一氏(立正大学名誉教授)

川崎義雄氏(元東京都教育庁学芸員)

⑦ビジターセンターの導入展示

・第1～10回桜写真展 上位入選作品展

平成25年4月1日(月)～4月14日(日) 875人

(平成24年度分会期:3/19(火)～3/31(日))

・小金井公園・たてもの園桜写真展

平成25年4月16日(火)～5月6日(月・休) 1,320人

・第11回桜写真展

平成25年5月8日(水)～26日(日) 990人

・第59回 小金井市四季の観光写真展コンクール入賞作品展

平成25年7月23日(火)～8月4日(日) 582人

・小金井薪能写真展

平成25年8月13日(火)～25日(日) 472人

・小金井公園野鳥の会写真展

平成25年9月10日(火)～9月29日(日) 647人

・「武蔵野の歴史と民俗」展 記念講演会 『武蔵野郷土館における発掘調査と考古学』

平成25年10月12日(土) 64人

・たてもの園ボランティアスケッチ同好会作品展

平成25年10月16日(水)～10月27日(日) 391人

・紅葉とたてもの園のライトアップ あかりのトーク

平成25年11月23日(土) 68人

・東京のくらしと木 檜と杉展

平成26年1月15日(水)～2月9日(日) 893人

・温故知新・小金井公園今昔展

平成26年3月11日(火)～3月31日(日) 1523人

・小金井公園桜守の会 講演会「都立小金井公園の今と昔」

平成26年3月15日(土) 50人

・「たてもの園フェスティバル」シンポジウム

平成26年3月27日(木) 50人

・「たてもの園フェスティバル」農村歌舞伎 2回

平成26年3月30日(日) 258人

⑧東京大茶会

平成26年9月28日(土)・29日(日) 入園者数12,113人

⑨開園20周年・30棟完成記念事業

・シンポジウム

平成26年3月27日(水)

・開園20周年・30棟完成記念イベント

平成26年3月27日(木)～30日(日) 入園者数13,310人

※開園記念日 3月28日(金)の入園者数 7,216人

(2) 展示企画

特別展

- ・開園20周年記念 たてもの園と建築家たち
平成25年4月1日(月)～5月6日(月・休) / 入園者数41,894人
(平成24年度分会期:1/17～3/31 全会期入園者数:97,996人)
内容:たてもの園に復元した収蔵建造物を設計した建築家・堀口捨己、三井道夫、前川國男にゆかりの資料を展示した。
- ・大奥女中とゆかりの寺院
平成25年5月18日(土)～7月7日(日) / 入園者数26,711人
内容:大奥女中の信仰を集めた寺と、寺院に残された資料から近年注目の江戸城大奥の姿を紹介した。大奥御年寄・瀧山の日記の展示を行った。
- ・武蔵野の歴史と民俗～江戸東京たてもの園収蔵品展～
平成25年7月20日(土)～平成26年3月2日(日) / 入園者数127,134人
内容:たてもの園が武蔵野郷土館から引き継いだ考古資料、民俗資料を中心に、武蔵野の歴史をふりかえった。
- ・憧れのモダン住宅―建築家 土浦亀城・信子夫妻の提案
平成26年3月15日(土)～3月31日(月) / 入園者数26,066人
(平成26年度分会期:4/1～5/18)
内容:東京都指定有形文化財である土浦亀城邸(品川区に現存)の紹介や、江戸東京博物館が所蔵する関連資料の展示を通して夫妻の業績を追った。

II 特別展示

「3T戦略」(Target 対象入館者、Timeliness 時宜、Top of sales point 目玉資料)のもと、時代やジャンルなどバラエティー豊かなラインナップの特別展を開催し、新たな来館者層の開拓を目指した。

また、日頃の調査研究の成果と充実した収蔵品を紹介した特別展では、江戸博の独自性をアピールすることができた。運営面では、関連事業やタイアップ企画の実施、オンラインチケットの販売拡充、協力金方式による収入率アップなど、コスト意識を踏まえて事業を推進した。

平成25年度の特別展入館者数は、延べ254日間の会期に計493,167人の観覧者を迎えることができた。

1 江戸東京博物館開館20周年記念 2013年NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」

期 間 平成25年4月1日(火)～平成25年5月6日(月・休)延べ32日間

*全体の会期は、平成25年3月12日(火)～5月6日(月・休)延べ51日間

会 場 1階 企画展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション

協 賛 日本写真印刷株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、ハウス食品株式会社
協 力 同志社大学

内 容 平成25(2013)年1月から始まった、NHK大河ドラマ「八重の桜」と連動して開催。福島県出身で、同志社大学を創立した新島襄の妻、新島八重の生涯を追うとともに、自ら銃をとって戦った戊辰戦争や、看護師に志願・従軍した日清・日露戦争に関わる、幕末から明治期の騒乱を伝える歴史資料を展示した。

観 覧 料 一般1,300円、大学・専門学校生1,040円、小中高生・65歳以上650円

入場者数 52,087人(1日平均 1,628人)

*会期全体では、73,581人(1日平均 1,442人)

2 江戸東京博物館開館20周年記念特別展「ファインバーグ・コレクション展－江戸絵画の奇跡」

期 間 平成25年5月21日(火)～平成25年7月15日(月・祝)延べ49日間

会 場 1階 企画展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協 賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン

協 力 全日本空輸、セインズベリー日本藝術研究所

内 容 ファインバーグ・コレクションは、江戸時代絵画を中心とした質の高いコレクションで知られている。ファインバーグ氏は、メアリー・バーク夫人、ジョー・プライス氏らに続く、アメリカの蒐集家で、既に大規模展を日本で開催して大きな話題を集めたプライス氏らと同様、自分の感性だけを基準にして美術品を集めている。そのコレクションの特徴は「質の高さ」と「上品さ」とされ、まさに珠玉の作品群と言える。本展は、このようなファインバーグ・コレクションを、初めてまとまった形で紹介したもので、コレクションから選び抜かれた名品93件によって展覧した。

観 覧 料 一般1,300円、大学・専門学校生1,040円、小中高生・65歳以上650円

入場者数 103,667人(1日平均 2,116人)

関連イベント

講演会「ファインバーグ・コレクションの魅力」

講師：小林忠(本展監修者・学習院大学名誉教授)

定員：400名(応募多数の場合、抽選)

※申し込みは、読売新聞文化事業部

参加料：無料（本展観覧券が必要。半券でも可。）
場所：東京都江戸東京博物館 1階ホール
日時：6月8日（土）14時～15時30分
参加者数：313人

3 江戸東京博物館開館20周年記念特別展「花開く 江戸の園芸」展

期 間	平成25年7月30日（火）～平成25年9月1日（日）延べ31日間
会 場	1階 企画展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
後 援	社団法人 園芸文化協会、公益財団法人 東京都公園協会、 一般社団法人 英国王立園芸協会日本支部
内 容	花を愛で緑に親しむのは、いつの時代も変わらない人間の本能的な嗜好であるといえる。これに加え、地球規模で進行する環境破壊に対する危機感が、自然とのふれあいを求めようとする人々の欲求を一層顕著なものにしている。本展覧会では、こうした現代の園芸ブームを背景に、江戸時代に開花した園芸文化の特質、実態を紹介した。中でも、幕末維新期に来日した外国人が驚くほどに高度に発達した植物の栽培技術や江戸時代の文化的な特質である庶民性が、園芸の分野においても貫かれていたことを、版本、絵巻、錦絵、古文書などの実物資料ばかりでなく、写真パネルなどを駆使して分かりやすく展示した。
観 覧 料	一般800円、大学・専門学校生640円、小中高校生・65歳以上400円 *会期中、年齢を証明できるものを提示いただいた20歳の方（平成4年7月1日から平成6年4月1日生まれの方）には、「花開く 江戸の園芸」展と常設展の両方を20円でご観覧いただいた。（「20歳のあなた 20円で江戸博をたのしんじゃおう」キャンペーン）
入場者数	36,595人（1日平均 1,180人）

関連イベント

- (1) 記念講演会「江戸の園芸文化ー将軍から庶民までの楽しみー」
講師：小笠原左衛門尉亮軒（園芸研究家）
日時：8月10日（土）10時30分～12時
会場：東京都江戸東京博物館 1階ホール
定員：400名（事前申込制）
参加費：無料
参加者数：235名
- (2) 都市歴史研究室主催シンポジウム 「江戸の園芸文化ー環境と観光ー」
日時：8月10日（土）13時30分～17時30分
会場：東京都江戸東京博物館 1階ホール
参加費：無料
参加者数：415名
- (3) 「巨大花絵巻」に折り紙の朝顔を咲かせよう！
展覧会会期中、展示室内に設置した「巨大花絵巻」に折り紙の朝顔を貼って装飾。
- (4) ワークショップ「朝顔折り紙教室」（講師：高井弘明氏）
開催日：8月3日（土）、4日（日）、17日（土）、18日（日）、31日（土）、9月1日（日）
時間：11時～、14時～の2回開催（1回1時間程度）
場所：学習室

参加方法：当日受付順

参加者数：360人

(5) ワークショップ「紋切り遊び教室ーオリジナル団扇を作ろう！ー」（講師：下中菜穂氏）

開催日：8月10日（土）、11日（日）、24日（土）、25日（日）

時間：11時～、14時～の2回開催（1回1時間程度）

場所：学習室

参加方法：当日受付順

参加者数：271人

(6) プレゼント

①変化朝顔を育ててみよう！

江戸東京博物館の窓口で前売チケットをご購入の方、先着500名様に変化朝顔の種（5粒）をプレゼント。

②スタンプラリー

都立9庭園（浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園、小石川後樂園、六義園、清澄庭園、島百花園、旧古河庭園、旧岩崎邸庭園、殿ヶ谷戸庭園）及び神代植物公園にてスタンプラリーを開催。合計4つのスタンプを集めて、江戸東京博物館1階総合受付にて、招待を先着1,000名様に配布した。

4 江戸東京博物館開館20周年記念特別展「明治のこころーモースが見た庶民のくらしー」展

期 間 平成25年9月14日（土）～平成25年12月8日（日）延べ76日間

会 場 1階 企画展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、朝日新聞社

後 援 アメリカ大使館

特別協力 ピーボディー・エセックス博物館、ボストン美術館、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構、国立歴史民俗博物館、大田区立郷土博物館

協 力 日本航空

内 容 近年、幕末から明治における日本人の暮らしが脚光を浴び、そこから何かを学ぼうという機運が大いに高まっている。本展は、明治初期に来日した動物学者であり、大森貝塚の発見で知られるエドワード・シルヴェスター・モース（1838-1925）の眼差しにより、江戸から明治にかけての日本人の日々の暮らしを再構成した。彼がつぶさに見た当時の日本人の、たとえば環境、災害、教育、仕事、娯楽、儀礼などについて、彼自身が収集した多彩な民具、陶器を始め、スケッチ、写真、日記などの「モースコレクション」により、その時代を生き抜いた名もなき日本人の姿と失われた暮らしを描いた。

観 覧 料 一般1,300円、大学・専門学校生1,040円、小中高校生・65歳以上650円

入場者数 80,789人（1日平均 1,063人）

5 江戸東京博物館開館20周年記念特別展「大浮世絵展」

期 間 平成26年1月2日（木）～平成26年3月2日（日）延べ54日間

会 場 1階 企画展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、国際浮世絵学会、読売新聞社

後 援 TBSラジオ

協 力 日本航空

内 容 浮世絵の誕生を準備した近世初期風俗画から、大正・昭和に制作された新版画に至るまでの、浮世絵とそれに関連する代表的な作品を、日本国内及び世界各地から一

堂に集めて展示した。菱川師宣「見返り美人図」、葛飾北斎「神奈川沖波裏」など、誰もが一度は目にしたことのある極めて有名な作品を始め、歌川広重、東洲斎写楽、歌川国芳等の著名絵師の作品を展示し、まさに“浮世絵の教科書”ともなるべき展覧会とした。

観覧料 一般1,300円、大学・専門学校生1,040円、小中高生・65歳以上650円
入場者数 209,142人（1日平均 3,873人）

関連イベント

(1) 浮世絵ナイト

日時：1月17日（金）18時～20時 講師：小林忠氏

1月24日（金）18時～20時 講師：神谷浩氏

2月7日（金）18時～20時 講師：安村敏信氏

場所：東京都江戸東京博物館 1階ホール

参加費：各3,000円

参加者数：1月17日 82人、1月24日 84人、2月7日 214人

(2) 摺り体験教室

日時：1月18日（土）、19日（日）10時、13時30分

場所：学習室①②

講師：アダチ伝統木版

参加費：無料（事前申込制）

参加者数：1月18日 23人、1月19日 35人

(3) 国際シンポジウム

日時：1月26日（日）13時～17時40分

場所：東京都江戸東京博物館 1階ホール

参加費：無料（事前申込制）

参加者数：240人

(4) 林家たい平落語会

日時：2月8日（土）13時～16時

場所：東京都江戸東京博物館 1階ホール

参加費：4,000円

参加者数：215人

(5) JR鑑賞会

日時：2月10日（月）9時30分～12時

場所：東京都江戸東京博物館 展示室

参加費：無料（事前応募・抽選）

参加者数：238人

6 江戸東京博物館開館20周年記念特別展「大江戸と洛中 ～アジアのなかの都市景観～」

期間 平成26年3月18日（火）～平成26年3月31日（月）延べ12日間

*全体の会期は、平成24年3月18日（火）～5月11日（日）延べ49日間

会場 1階 企画展示室

主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社

内容 江戸時代における都市「江戸」を、国内外の都市と比較し、かつ海外との交流の側面から探った。とかく鎖国などの語彙に代表されるように、江戸時代は海外に対して閉鎖的なイメージがある。しかしながら都市「江戸」は日本を代表する都市として成長し、さまざまな情報や品々を受け取りかつ発信していた。「江戸」の持つ国

際的な側面に注目し、江戸時代を通して次第に視野を広げ、近代を準備した都市江戸の実像に迫った。

観 覧 料 一般1,300円、大学・専門学校生1,040円、小中高生・65歳以上650円
入場者数 10,887人（1日平均 907人）

Ⅲ 資料収集

1 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。

平成25年度は、資料収蔵委員会（収集部会・評価部会）を2回開催し、第1回目（10月30日、11月1日）では購入資料を中心に、第2回目（1月31日）では寄贈資料を中心に付議した。

(1) 平成25年度資料収集点数 (単位：点)

区 分	購 入	寄 贈	その他	計
標 本 資 料	259	1,193	0	1,452
図 書 資 料	586	0	4,542	5,128
映像音響資料	26	217	0	243
合 計	871	1,410	4,542	6,823

(2) 主な収集資料（寄贈資料より）

分 類	資 料 名
絵画	四季風物図屏風（市川其融／画）
絵画・書跡 文書類・ 静止画等	川村清雄関係資料
絵画・印刷物	向島隅田堤観桜之図 他
工芸品	長板中形浴衣（清水幸太郎／型付）
文書類	ふ号作戦と小田原製紙
印刷物・ 生活民俗	第18回オリンピック競技大会関係資料
印刷物・ 静止画	橘 右近寄席関係資料
生活民俗	軍事郵便
生活民俗	ダンスホールチケット
生活民俗	小鳩くるみちゃんのカール人形 等

2 資料制作

「東京オリンピック表彰台」（秩父宮記念スポーツ博物館蔵）、「日吉山王社参詣図屏風・日光東照社参詣図屏風」（当館蔵）他、計8件10点の複製資料を製作した。

3 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営を図れるよう、資料を購入した。

〔主な購入資料〕

分 類	資 料 名
絵画	楽宮下向絵巻
絵画	隅田川納涼図屏風

工芸品	染分麻地水辺風景鶴模様小袖
工芸品	黒綸子地橘模様慶長小袖裂
工芸品	蠟色塗葵紋散蒔絵茶弁当箱
文書類	江都御城詰番所之道絵図 等
文書類	天保十四年日光社参勤番守護絵図
文書類	京濱地方修学旅行日記 等
典籍	日活関西東京両撮影所十週年記念写真帖
印刷物	商品チラシ一括

IV 資料管理・保全

1 資料管理・保全

(1) 資料の修理

18件（75点）の修理を行った。

〔内 訳〕

資料分類	件数	点数	資料分類	件数	点数
標本資料	14	16	図書資料	4	59
絵画	1	3	図書	4	59
工芸品	3	3			
文書類	5	5			
印刷物	4	4			
典籍類	1	1			

(2) 資料の収蔵

平成26年3月末日現在、585,106点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本資料	312,142点
映像音響資料	41,969点
図書資料	230,995点

(3) 資料の貸出

平成26年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、22件（329点）の資料を貸し出した。

(4) 寄託資料の更新

2件、4,192点の寄託資料の更新を行った。

2 コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業（常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等）への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム（資料情報システム）の管理及び運用を行った。

V 調査・研究

1 都市歴史研究室における研究テーマ

(1) 年間特定研究「江戸の園芸文化」

研究成果はシンポジウム「江戸の園芸文化」、えどはくカルチャー等で発表した。

(2) 共同研究

① 比較都市研究 江戸と大坂（大阪歴史博物館との共同研究）

小澤弘・市川寛明・田中実穂・米山勇

② 在外日本コレクションの所在調査（国立歴史民俗博物館との共同研究）

小林淳一・小山周子

(3) 基盤研究

① 小澤 弘「浜御殿より品川新宿迄江戸往還絵巻」について」

② 市川寛明「米屋田中家文書の研究（焼失家屋の復興）」

③ 田中実穂「園芸関係資料の調査」

④ 米山 勇「東京の小学校建築に関する絵葉書の調査」

2 シンポジウムの開催

「江戸の園芸文化 ―環境と観光―」

江戸から東京への時代の移り変わりの中で、本所・向島地域がどのように変容し、また新しい街を形成していったのか、その過程を跡づけ、本所・向島地域形成の特質を考えるシンポジウムを開催した。

開催日 平成25年8月10日（土）

会場 1階 ホール

参加人数 415人

報告

秋山伸一（豊島区立郷土資料館）「植木屋の庭空間をあるく」

市川寛明（当館）「園芸の普及と園芸市場の形成」

日野原健司（太田記念美術館）「浮世絵に描かれた園芸文化」

岩淵令治（学習院女子大学）「武士の園芸」

平野恵（台東区立中央図書館）「本草学からみた園芸文化のひろがり」

問題提起・司会：小澤弘

3 書籍の編集・刊行

① 『調査報告書』第28集の刊行

名称 『隅田川と本所・向島 ―開発と観光―』

発行年月日 平成25年3月20日

発行部数 1,000部

構成

1. カラー口絵（館蔵 本所・向島関連資料）

2. 論考

「天和年中本所総上地の目的 ―『江東撤退』再考」（中山学／墨田区）

「隅田川と花火 ―北斎を出発点として―」（奥田敦子／墨田区文化振興財団）

「墨東の名所めぐりと文人たち」（小澤弘）

「向島百花園通史」（田中実穂）

「近現代におけるすみだの景観～東京スカイツリーがもたらすもの」（米山勇）

3. パネルディスカッションの記録

福澤徹三（すみだ郷土文化資料館）／龍澤 潤（深川東京モダン館）

4. シンポジウム実施記録および関連事業概要

5. 東京都江戸東京博物館所蔵本所・向島地域関連資料目録

6. 本所・向島地域地誌・関連文献目録（式）

②『東京都江戸東京博物館紀要』第4号の刊行

江戸東京博物館で行った研究や博物館活動の成果を公表するため、『東京都江戸東京博物館紀要』第4号を刊行した。

名 称 『東京都江戸東京博物館紀要』第4号

発行年月日 平成26年3月20日

発行部数 1,500部

構 成

口 絵

序 言

論 稿

1 畑 尚子「寺院が所持する大奥関係資料

2 小澤 弘「館蔵 「浜御殿より品川新宿江戸往還道絵巻」について」

3 市川 寛明「弘化三年大火における類焼家屋の再建過程に関する基礎的考察
—人宿米屋田中家の事例を通して—」

4 米山 勇明「明治期～昭和戦前期における東京の小学校建築に関する館蔵絵葉書資料
—江戸東京博物館所蔵の絵葉書に関する建築史的研究1—」

5 落合 則子・村松 裕美「川村清雄作品下絵類の修復
—作品解説ならびに関連資料の紹介とともに—」

6 田中 実穂「特別展 「花開く 江戸の園芸」実施報告」

7 行吉 正一「企画展 「雑誌にみる東京の20世紀 —館蔵資料紹介—」実施報告」

8 松井かおる「東京都江戸東京博物館の常設展示「生活革命」と東京の電化生活」

9 小林 克・高橋英久「ヨーロッパ野外博物館会議参加および視察報告」

10 落合 則子「ある静岡育英会奨学生の記録

—医師高梨鎮の生涯と旧幕臣和多田家の明治 「川村清雄関係資料」から—

VI 図書室等の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。閉室期間中（24年12月4日（火）～同年12月14日（金））は、蔵書整理、開架書籍の入替えなどを実施した。

1 図書室利用状況

入室者数	39,151人
閉架図書請求数	1,998冊
マイクロフィルム請求数	255件
図書複写申請数（モノクロ）	13,255枚
図書複写申請数（カラー）	1,126枚
マイクロフィルム複写申請数	6,339枚
レファレンス対応数	2,029件
インフォメーション対応数	2,429件
WEB-OPAC検索利用数	936,974件
ALC検索利用数	83,745件

2 図書室ミニ講座

えどはくカルチャー「市中取締類集にみる天保期の江戸社会」にあわせて、参加者向けに古文書学習のための一助として、図書室のマイクロリーダーの使い方や図書室所蔵のマイクロフィルムを紹介するミニ講座を計3回開催した。

- ①平成25年2月12日（金）15:45～16:15
- ②平成25年2月26日（木）15:45～16:15
- ③平成25年3月12日（金）15:45～16:15

3 夏休み！こども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 平成25年7月13日（土）～8月31日（日）

4 図書室内展示

図書室が所蔵する資料から、話題性のあるテーマで特集展示を行った。

展示テーマ	会 期	担 当
八重の桜	4月6日（土）～12月15日（日）	栗原智久（司書）
大正期の変化朝顔	7月30日（土）～9月1日（日）	楯石もも子（司書）
大森貝塚に行ってみよう！	9月14日（土）～12月15日（日）	式 淳子（司書）
明治の競馬 ～東京	1月2日（水）～3月2日（日）	式 淳子（司書）
江戸の華 町火消の装束	3月4日～5月11日	井上美奈子（司書）

5 特集図書コーナー

企画展・特別展や時事に合わせて図書の特集コーナーを設置した。

特集テーマ	会期	担当
特別展「八重の桜」	3月12日(火)～8月31日(日)	栗原智久(司書)
特別展「ファインバーグ・コレクション展 ー江戸絵画の奇跡」	5月21日(火)～7月15日(日)	井上美奈子(司書)
特別展「花開く 江戸の園芸」	7月30日(土)～9月1日(日)	楯石もも子(司書)
特別展「明治のこころ ーモースが見た庶民の暮らし」	9月14日(月)～12月8日(日)	式 淳子(司書)
特別展「大浮世絵展」	1月2日(土)～3月2日(月)	井上美奈子(司書)
特別展「大江戸と洛中」	3月18日(火)～5月11日(日)	小宮山めぐみ(司書)
企画展「盛り場・両国 ー江戸庶民の行動文化」	4月16日(土)～5月26日(日)	式 淳子(司書)
企画展「発掘された日本列島2013」	6月8日(土)～7月25日(日)	上杉 海(司書)
企画展「市民からのおくりもの2013」	8月3日(月)～9月8日(日)	
企画展「幕末の江戸城大奥」	10月29日(土)～12月8日(日)	栗原智久(司書)
企画展「東海道五十三次」	1月2日(月)～2月2日(日)	小宮山めぐみ(司書)
企画展「平成の大津波被害と博物館」	2月8日(土)～3月23日(日)	上杉 海(司書)
特集「開館20周年」	4月1日(土)～3月31日(月)	栗原智久(司書)
特集「歌舞伎座」	5月1日(水)～6月30日(日)	井上美奈子(司書)
特集「世界遺産 富士山」	6月25日(火)～10月27日(木)	楯石もも子(司書)
特集「夏休み!子供歴史学習相談」	7月13日(土)～8月31日(日)	上杉 海(司書)
特集「東京オリンピック」	9月14日(土)～12月15日(日)	井上美奈子(司書)
特集「招福のかたち 縁起物七福神」	1月5日(土)～3月31日(日)	楯石もも子(司書)
特別展「八重の桜」	3月12日(火)～8月31日(日)	栗原智久(司書)

6 職場体験受入

江戸東京博物館で職場体験の受入した中学校のうち、下記期間は図書室において、図書配架、図書出納サービス、図書装備、データ入力等の体験受入をした。

- 平成25年7月2日 墨田区立立花中 2人
- 平成25年7月11日 墨田区立両国中 3人
- 平成25年9月11日 文京区立第六中 2人
- 平成25年10月11日 品川区立荏原平塚中 1人
- 平成25年11月13日 都立白鷗中 3人
- 平成25年12月12日 桜修館中学校 3人
- 平成26年2月7日 錦糸中学校 3人

VII 教育普及

1 えどはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、合計100講座を開催した。

期 間	平成25年4月11日（木）～平成26年3月25日（木）
会 場	江戸東京博物館（ホール、会議室）
受 講 料	各講座 一般 1,000円（一部例外あり、セット割引あり） 友の会、ボランティア 800円（同上）
受講者数	14,300人
講 座 数	90講座

春期講座 計 22 回(4355 人)

※イタリック=外部講師

回数	実施日	講座タイトル	講演者	参加人数
1	4月11日(木)	開館20周年記念ワンコイン講座「お江戸の桜」	小澤 弘	137
2	4月16日(火)	開館20周年記念2013年大河ドラマ特別展「八重の桜」 ①会津時代の八重	佐藤洋一	119
3	4月18日(木)	江戸東京人物列伝II①福姫—織田信長と徳川家康の孫	近松鴻二	238
4	4月19日(金)	フレッシュ講座「盛り場・両国」展の見どころ	丸山はるか	81
5	4月23日(火)	開館20周年記念2013年大河ドラマ特別展「八重の桜」② コロニアル住宅と茶室—八重が54年間、暮らした家	石田潤一郎	90
6	4月24日(水)	見たい！日本の名建築I ①奈良編・1	米山 勇	187
7	4月30日(火)	開館20周年記念2013年大河ドラマ特別展「八重の桜」 ③「特別展企画委員が語る『八重の桜』展」	古山智行、 小枝弘和、 齋藤慎一	185
8	5月2日(木)	浮世絵の魅力I ①江戸と浮世絵	小澤 弘	197
9	5月8日(水)	見たい！日本の名建築I ②京都編1	米山 勇	194
10	5月9日(木)	江戸東京人物列伝II②お振(自証院)—徳川家光の側室	近松鴻二	248
11	5月13日(月)	企画展「盛り場・両国—江戸庶民の行動文化—」 両国回向院と開帳	石山秀和	156
12	5月16日(木)	浮世絵の魅力I ②版画技法と背景	小澤 弘	160
13	5月22日(水)	見たい！日本の名建築I ③東京編・1	米山 勇	217

14	5月23日(木)	江戸東京人物列伝Ⅱ③大岡越前守忠相—旗本から大名に	近松鴻二	282
15	5月29日(水)	江戸のいざこざ①	北原 進	196
16	5月30日(木)	浮世絵の魅力Ⅰ③吾妻錦絵の成立	小澤 弘	167
17	6月1日(土)	えどはくカルチャー1,001回記念特別講座「江戸の美人」	竹内 誠	246
18	6月5日(水)	江戸のいざこざ②	北原 進	206
19	6月13日(木)	江戸東京人物列伝Ⅱ④ 遠山左衛門尉景元—名奉行になるまで	近松鴻二	281
20	6月19日(水)	江戸のいざこざ③	北原 進	295
21	6月20日(木)	江戸東京人物列伝Ⅱ⑤勝海舟—幕臣を超えて	近松鴻二	295
22	6月26日(水)	江戸のいざこざ④	北原 進	178

夏期講座 計20回(2968人)

回数	実施日	講座タイトル	講演者	参加人数
23	7月5日(金)	岩手県野田村での復興発掘調査と普及活動	深澤敦仁	29
24	7月9日(火)	見たい！日本の名建築Ⅱ①奈良編・2	米山 勇	184
25	7月11日(木)	浮世絵の魅力Ⅱ①四季と江戸名所	小澤 弘	239
26	7月12日(金)	講座 近世考古学① 近世考古学から見た日蘭交流	小林 克	54
27	7月19日(金)	講座 近世考古学② 江戸の白砂糖作り—江戸遺跡出土資料の探求から—	小林 克	60
28	7月25日(木)	浮世絵の魅力Ⅱ②江戸歌舞伎と役者絵	小澤 弘	247
29	7月26日(金)	夏休みワークショップ・水道管尺八	田嶋謙一 川村葵山	17
30	7月31日(水)	夏休みワークショップ・和綴じAM	楯石もも子	33
31	7月31日(水)	夏休みワークショップ・和綴じPM	楯石もも子	32
32	8月2日(金)	特別展「花開く 江戸の園芸」① 「花開く 江戸の園芸」展の見どころ	市川寛明	113

33	8月8日(木)	浮世絵の魅力Ⅱ③遊女と江戸の評判娘	小澤 弘	238
34	8月9日(金)	特別展「花開く 江戸の園芸」② 漱石文学に見る江戸東京の園芸文化	行吉正一	106
35	8月20日(火)	見たい！日本の名建築Ⅱ②京都編・2	米山 勇	225
36	8月22日(木)	時を記す①干支—もうひとつの数字—	近松鴻二	255
37	9月5日(木)	時を記す②時法—一刻の長さが違う—	近松鴻二	232
38	9月12日(木)	時を記す③暦法—一年の長さが違う—	近松鴻二	255
39	9月14日(土)	「明治のころ—モースが見た庶民の暮らし—」① モース、日本陶器収集にかけた情熱	三木美裕	115
40	9月21日(土)	「明治のころ—モースが見た庶民の暮らし—」② モースと大森貝塚—日本考古学の原点—	加藤 緑	131
41	9月24日(火)	見たい！日本の名建築Ⅱ③東京編・2	米山 勇	229
42	9月28日(土)	「明治のころ—モースが見た庶民の暮らし—」③ モース『日本その日その日』—明治の暮らし点描—	小林淳一	174

秋期講座 計 23 回(3279 人)

回数	実施日	講座タイトル	講演者	参加人数
43	10月3日(木)	浮世絵の魅力Ⅲ①古典と時世粧(いまよう)	小澤 弘	116
44	10月10日(木)	拾いよみ 江戸のかわら版①大火の知らせ	北原 進	141
45	10月17日(木)	浮世絵の魅力Ⅲ②明治の錦絵と大正新版画	小澤 弘	125
46	10月23日(水)	市中取締類集を読む—プレ古文書講座の試み—①	市川寛明	84
47	10月24日(木)	拾いよみ 江戸のかわら版②江戸の敵討ち	北原 進	165
48	10月30日(水)	市中取締類集を読む—プレ古文書講座の試み—②	市川寛明	78
49	10月31日(木)	浮世絵の魅力Ⅲ③印象派と世界の浮世絵コレクション	小澤 弘	151
50	11月2日(土)	①「明治のころ—モースが見た庶民の暮らし—」 モースの集めた民具—大森麦わら細工を中心として—	藤塚悦司	89
51	11月8日(金)	見たい！日本の名建築Ⅲ①東北編・1	米山 勇	173

52	11月9日(土)	「明治のころーモースが見た庶民の暮らしー」 ②モースの見た日本のすまい	藤森照信	91
53	11月13日(水)	幕末の江戸城大奥①「幕末の江戸城大奥」展の見どころ	野本禎司	196
54	11月16日(土)	「明治のころーモースが見た庶民の暮らしー」 ③外国人の見た幕末・明治の江戸東京	竹内 誠	227
55	11月20日(水)	幕末の江戸城大奥②江戸城大奥と留守居	野本禎司	207
56	11月22日(金)	見たい！日本の名建築Ⅲ②栃木・群馬・埼玉編・1	米山 勇	176
57	11月28日(木)	江戸時代の花と緑を読む① 『草木育種』を読む～糧を育てる	田中実穂	62
58	11月30日(土)	「明治のころーモースが見た庶民の暮らしー」 ④シーボルト父子とモース —コレクションを通じて見た日本—	ヨーゼフ・ク ライナー	150
59	12月3日(火)	江戸時代の制度①参勤交代 —大名行列はその一部—	近松鴻二	275
60	12月5日(木)	お江戸の年越し	北原 進	161
61	12月6日(金)	見たい！日本の名建築Ⅲ③甲信越編・1	米山 勇	23
62	12月10日(火)	江戸時代の制度② 石高制 —「石(こく)」は米の見込み生産量—	近松鴻二	238
63	12月12日(木)	江戸時代の花と緑を読む② 『金生樹譜 別録』を読む～金を生む樹	田中実穂	65
64	12月17日(火)	江戸時代の制度③ 通貨制度 —円と\$とと€が同時に通用—	近松鴻二	230
65	12月19日(木)	江戸時代の花と緑を読む③ 『菊花壇養種』を読む～菊の種類と育て方	田中実穂	56

新春期講座 計 25 講座 (3698 人)

回数	実施日	講座タイトル	講演者	参加人数
66	1月16日(木)	大浮世絵展①浮世絵の誕生	小澤 弘	238
67	1月17日(金)	江戸時代の制度Ⅱ①元号制	近松鴻二	206
68	1月21日(火)	江戸時代の花と緑を読むⅡ① 『梅品』を読む ～江戸時代の梅について	田中実穂	77
69	1月24日(金)	江戸時代の制度Ⅱ②旧国制	近松鴻二	218

70	1月28日(火)	文学散歩①大岡昇平『武蔵野夫人』の小金井を歩く	行吉正一 田中実穂	25
71	1月30日(木)	大浮世絵展②浮世絵の黄金期	浅野秀剛	277
72	1月31日(金)	江戸時代の制度Ⅱ③度量衡	近松鴻二	197
73	2月6日(木)	大浮世絵展③上方浮世絵とは何か? —その特徴と意義—	北川博子	232
74	2月7日(金)	たてももの園セミナー 建築家デ・ラランデとその周辺 ① デ・ラランデとドイツ人建築家	堀勇 良	101
75	2月7日(金)	たてももの園セミナー 建築家デ・ラランデとその周辺② 建築家ヤン・レツルについて—書簡集から建築活動をたどる	菊楽 忍	
76	2月12日(水)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸社会Ⅱ① —プレ古文書講座の試み	市川寛明	113
77	2月13日(木)	建築家・丹下健三と20世紀① コルビュジエから丹下健三へ—20世紀とモダニズム—	米山 勇	131
78	2月18日(火)	江戸時代の花と緑を読むⅡ② 描かれた名木 ～亀戸臥龍梅を観る・読む	田中実穂	77
79	2月20日(木)	大浮世絵展④明治時代の浮世絵	我妻直美	207
80	2月21日(金)	歌舞伎入門①歌舞伎の歴史	粟屋朋子	192
81	2月26日(水)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸社会Ⅱ② —プレ古文書講座の試み	市川寛明	110
82	2月28日(金)	文学散歩②(散歩)	行吉正一 田中実穂	17
83	3月5日(水)	講座・近世考古学Ⅱ①江戸人の生活と文化・1—火とあかり—	小林 克	209
84	3月7日(金)	歌舞伎入門②歌舞伎の楽しみ～歌舞伎を見に行くために～	粟屋朋子	188
85	3月12日(水)	「市中取締類集」にみる天保期の江戸社会Ⅱ③ —プレ古文書講座の試み	市川寛明	101
86	3月13日(木)	建築家・丹下健三と20世紀② 丹下健三と昭和建築	米山 勇	129
87	3月18日(火)	江戸時代の花と緑を読むⅡ③梅屋敷と花屋敷	田中実穂	85
88	3月19日(水)	講座・近世考古学Ⅱ② 江戸人の生活と文化・2 —飲み物と食—	小林 克	233
89	3月22日(土)	【特別講座】都市図の系譜と江戸	小澤 弘	290
90	3月25日(火)	詩の東京—新宿をうたった詩—	行吉正一	45

2 伝統芸能フォーラム

伝統芸術の発展と継承を目指し、多くの都民が伝統芸能に親しむ機会を提供するため、特別展「大江戸と洛中」に関連した寄席公演をはじめとし、能楽公演、浪曲公演を開催した。

(1) 「能楽公演」公益財団法人能楽協会の企画制作による宝生流「黒塚」の公演

期 日	平成 26 年 3 月 1 日 (土)
会 場	江戸東京博物館 1 階ホール
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
内 容	宝生流「黒塚」 第一部 解説・謡体験 第二部 能 宝生流 「黒塚」 出演：小倉 敏克、金井 雄資、大日向 寛、小野寺竜一、國川 純 他
入場料	2,000 円 (高校生以下 1,000 円)
参加者数	331 人

(2) 落語公演「寄席 大江戸と洛中」

期 日	平成 26 年 3 月 28 日 (金)
会 場	江戸東京博物館 1 階ホール
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
内 容	特別展「大江戸と洛中」に関連し、江戸と京の庶民の掛合いを楽しめる公演。 出演：柳亭市馬、橘家圓太郎、柳家小菊、柳家市助
入場料	3,000 円 (高校生以下 1,000 円)
参加者数	241 人

(3) 浪曲公演「忠臣蔵 南部坂 雪の別れ」

期 日	平成 26 年 3 月 30 日 (日)
会 場	江戸東京博物館 1 階ホール
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
内 容	現代も変わらぬ人気を誇る「忠臣蔵」より「南部坂雪の別れ」を、国本武春の音楽と物語が織りなす「ザ・エンターテイメント」。 出演：国本武春、沢村豊子
入場料	3,000 円 (高校生以下 1,000 円)
参加者数	204 人

3 江戸東京博物館開館 20 周年記念事業

開館 20 周年を記念し、多彩な取組みを実施することにより、来館者のサービス向上を図り、観覧者数の増加に貢献した。

(1) 本館

① 開館 20 周年記念イベント事業報告書 20 部作成

平成 24 年度の 20 周年記念イベントに関する事業報告書を作成。

② 20 周年記念誌 1,000 部作成 (平成 26 年 9 月納品日予定)

江戸東京博物館開館以来、20 年間の事業実績とトピックスをまとめた「20 周年記念誌」の原稿を作成。

③ 20歳のあなた 20円で江戸博をたのしんじゃおうキャンペーンの実施

若年層の来館者数を増加するため、20歳に向けた広報活動を展開。大学生向けに「ただコピ」を出稿したり、ブロガーを招待し特別展・常設展の紹介をするなど、新たな顧客獲得に向けたPRを実施した。

期日：平成25年7月30日（火）～9月1日（日）

参加者数：1,519人

広報：WebでのPRを実施、146件の記事掲載。

「ただコピ」での出稿、ブロガーイベントの開催 他

④ 開館20周年記念イベントを企画展・特集展示の関連企画として実施。

特集展示「東海道五十三次」にちなみ「山駕籠」を日本橋や江戸博で走らせ、来館者等に乗ってもらい、話題作りと来館者サービスに努めた。また、正月に旅姿の「ぶらぶら町人」が「東海道五十三次」展を見学したり、子供にも展示を楽しんでもらえるよう「巨大パズル」を設置するなど、江戸博の魅力アップにつながる試みを実施した。

さらに、特集展示「2011.3.11 平成の大津波被害と博物館」に関連して修復作業を映像化し、You Tubeに公開した。約1か月で1,000回を超える再生回数となった。

Webサイト「ウーマンエキサイト」とタイアップしたトークイベントでは、参加対象を20-30代女性に設定し、情報拡散力を持つ若い世代に向けたPRの機会とした。

「山駕籠イベント」

期日：平成25年12月14日（土）、15日（日）、26年1月2日（木）、13日（月）

参加者数：271組

「ぶらぶら町人」

期日：平成26年1月12日（日）、13日（月）

「東海道五十三次 巨大パズル」の設置

期日：平成26年1月2日（木）～2月2日（日）

「2011.3.11 平成の大津波被害と博物館」関連映像の制作・上映

期日：平成26年2月8日（土）～3月23日（日）

「ウーマンエキサイト トークイベント」

期日：平成26年3月22日（土）

参加者数：23人

4 国際交流事業

平成14年度から、東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル市立歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物院（平成18年度より参加）の4館で輪番制とし、シンポジウムを巡回開催。首都における歴史博物館の交流の一環として毎年国際シンポジウムを開催している。本年は、ソウルで実施された第11回日中韓国際シンポジウムに2名が参加。シンポジウムに於いて当館の取り組みを発表、参加各館との情報交換を行った。

5 えどはく寄席

日程 前年度同様、来館者数の多い時期に開催日を絞り新緑寄席・向日葵寄席・紅葉寄席・伝統芸能ウィーク・正月寄席・ファミリー寄席を実施した。今年度も1日あたりの開催回数には2回から4回の幅を持たせ、時間も来館者の多い時間帯に合わせて実施した。

客数 62,822人（うち「秋の伝統芸能ウィーク」3,509人、「正月の催し」5,053人）

内容 伝統芸能の継承・普及及び常設展示室の賑わいの演出を目的に、常設展示室5階中村座前で、落語、漫才、紙切り、かつぼれ、太神楽、邦楽、ジャグリング、曲芸などを実演した。内容については新緑寄席ではファミリー向けの太神楽やジャ

グリングなどを中心とした構成とし、紅葉寄席では芸術の秋に合わせて落語などじっくり聞かせる演目とするなど、時期に応じた内容とした。さらに今年度も、学校団体の多い11月の平日に児童・生徒へ向けた「秋の伝統芸能ウィーク」を実施し、事業の充実を図った。正月には箏曲演奏、からくりの実演、獅子舞など正月らしい催事や公式マスコットキャラクター「ギボちゃん」との記念撮影などを実施した。3月の開館記念日前後には昨年の開館記念寄席を拡大し、ファミリー寄席としてからくり人形の公演や、落語、邦楽演奏など多彩な内容の公演を行った。

日付	演目	出演者	観客数
4月13日(土)	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	541
4月27日(土)	クラウンショー/パントマイム	クラウンベル/あさぬまちずこ	911
4月28日(日・祝)	パントマイム/太神楽	あさぬまちずこ/鏡味初音	1,137
4月29日(月・休)	マジック/アクロバット	アサダ二世/ブラッキー	858
4月30日(火)	新内節/口上	鶴賀伊勢吉・新内勝志壽/ やなぎ南玉	531
5月1日()	ジャグリング/マジック	ひいろ/YOHEY	750
5月2日(水)	新内節/クラウンショー	鶴賀伊勢吉・新内勝志壽/ クラウンベル	739
5月3日(木・祝)	太神楽/ジャグリング	翁家小花/KAZUHO	1,490
5月4日(金・祝)	太神楽/ジャグリング	鏡味仙志朗/ダダマン小出	1,402
5月5日(土・祝)	太神楽/ジャグリング	鏡味初音/ひいろ	1,503
5月6日(日)	太神楽/ジャグリング	鏡味初音/鈴木拓矢	1,244
5月11日(土)	マジック	カズ・カタヤマ	505
5月12日(日)	太神楽	鏡味仙志朗	581
5月18日(土)	パントマイム	あらい汎	427
5月19日(日)	マジック	モンブラン	441
5月25日(土)	アクロバット	s a d a	477
5月26日(日)	クラウンショー	びりとブッティー	621
6月8日(土)	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	507
7月13日(土)	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	680
8月3日(土)	箏	石田真奈美・柿木原こう	414
8月4日(日)	尺八・津軽三味線	田嶋謙一・白田路明	550
8月10日(月・祝)	パントマイム/腹話術	あらい汎/芝辻しげを	1,005
8月11日(土)	ジャグリング/玉すだれ・皿回し	トッチ/梅ちゃん	1,119
8月12日(日)	クラウンショー/江戸曲独楽	シオリン/三増紋右衛門	1,030
8月13日(土)	ジャグリング/放下芸	ハット/佐藤まさ志	1,246
8月14日(日)	ジャグリング/放下芸	クラッチ/佐藤まさ志	1,210
8月15日(土)	ジャグリング/江戸曲独楽	ユースケ/三増紋右衛門	1,197
8月16日(日)	マジック/江戸曲独楽	キラリン/三増紋右衛門	1,240
8月17日(土)	クラウンショー/玉すだれ・皿回し	シオリン/梅ちゃん	1,072
8月18日(日)	太神楽/パントマイム	鏡味初音/あらい汎	1,092
8月20日(水)	箏	明日香・藤木久実	452
8月21日(木)	落語・太神楽	三遊亭遊馬/鏡味正二郎	581
8月22日(金)	落語・紙切り	三遊亭王楽・林家花	416
8月23日(土)	落語・俗曲	立川談慶・春風亭美由紀	428
8月24日(日)	落語・太神楽	桂米福・鏡味初音	715
8月25日(日)	箏	渡部祐子・柿木原こう	513
8月31日(土)	落語・ヴァイオリン漫談	三遊亭春馬・マグナム小林	773
9月1日(日)	尺八	田嶋謙一・大河内淳矢	546
9月8日(土)	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	550
10月5日(土)	尺八・箏	辻本好美・伊藤江里菜	837
10月6日(日)	落語・相撲漫談	柳屋蝠丸・一矢	634
10月12日(月・祝)	奇術	北見翼	819

10月13日(土・祝)	太神楽	鏡味初音	1,017
10月14日(日)	曲独楽	やなぎ南玉	875
10月19日(土)	津軽三味線・和太鼓	白田路明・金刺由大	932
10月20日(日)	落語・俗曲	立川談幸・春風亭美由紀	932
10月26日(土)	尺八・津軽三味線	田嶋謙一・白田路明	850
10月27日(日)	落語・紙切り	桂小南治・林家花	1,291
11月2日	落語	桂小文治	721
11月3日	落語	柳亭楽輔	884
11月4日(日)	落語	桂南なん	930
11月9日(火)	箏	柿木原こう・渡部祐子	768
11月10日(水)	落語・俗曲	三遊亭圓丸・松之家扇鶴	990
☆11月12日(火)	和太鼓	橋口隆之・金刺由大	436
☆11月13日(水)	和太鼓	橋口隆之・A j o	593
☆11月14日(木)	尺八	田嶋謙一・大河内淳矢・ 河村葵山	475
☆11月15日(金)	和太鼓	金刺由大・金刺凌大	359
☆11月19日(火)	落語	桂伸治	371
☆11月20日(水)	落語	桂歌助	369
☆11月21日(木)	落語	山遊亭金太郎	491
☆11月22日(金)	落語	三遊亭遊吉	415
12月14日(土)	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	573
★1月2日(水)	からくり公演	夢からくり一座	1,502
★1月3日(木)	からくり公演	夢からくり一座	1,481
★1月4日(金)	からくり公演	夢からくり一座	1,164
★1月5日(土)	からくり公演	夢からくり一座	906
1月11日(土)	落語・紙切り	土橋亭里う馬・林家花	524
1月12日(日)	落語・太神楽	春雨や雷蔵	781
1月13日(月・祝)	落語・奇術	瀧川鯉昇・北見翼	744
2月8日(土)	江戸芸かつぼれ※	桜川ぴん助社中	0
3月8日(土)	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	574
3月21日	からくり公演	夢からくり一座	1,202
3月22日(土)	からくり公演	夢からくり一座	1,237
3月23日(日)	からくり公演	夢からくり一座	1,221
3月25日(日)	津軽三味線・和太鼓	白田路明・金刺由大	448
3月26日(日)	尺八	田嶋謙一・川村葵山	381
3月27日(日)	尺八	田嶋謙一・川村葵山	405
3月28日(木)	落語・太神楽	立川談幸・鏡味千代	784
3月29日(金)	落語・動物ものまね	桂伸治・江戸家まねき猫	629
3月29日(金)	落語・太神楽	三遊亭鳳楽・鏡味初音	783

[実績一覧] 日付の前、無印は通常のえどはく寄席、★印は正月の催し、☆印は伝統芸能ウィークを各々表す。

※平成25年2月8日の「江戸芸かつぼれ」は記録的積雪により中止

6 ふれあい体験教室

ふれあいボランティアが企画・運営する伝統的な文化や芸能の体験型事業や、高齢者や子供を対象とした参加型事業を実施した。

ふれあい体験教室実施数 61件

ふれあい体験教室参加者数 2,608人

〔実績一覧〕

日 程	内 容	人数
4月20日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	100
4月21日	ときめきキモノ体験	35
4月27日	和算のひみつ／反古紙で折る小物	81
4月27日	藍染体験教室	50
4月27日	みんなで遊ぼう！昔あそび	150
4月27日	8枚羽の風くるまをつくろう！	31
4月28日	万華鏡をつくろう	41
4月28日	祭り茶席	28
4月28日	歴史散歩「両国散歩」	28
5月18日	ときめきキモノ体験	22
5月19日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	85
5月19日	扇子遊びをしましょう！	23
5月25日	和算のひみつ／反古紙で折る小物	45
5月25日	歴史散歩「麻布界限」	21
6月2日	江戸模様で遊ぼう～消しゴムはんこで千代紙をつくる～	68
6月9日	万華鏡をつくろう	30
7月6日	ときめきユカタ体験	42
7月21日	ときめきユカタ体験	51
7月25日	江戸切子体験	25
7月26日	江戸切子体験	24
7月27日	和算のひみつ／反古紙で折る小物	112
7月27日	歌舞伎の化粧（子供向け）	12
7月28日	藍染体験教室	19
8月3日	ときめきユカタ体験	36
8月17日	和算のひみつ／反古紙で折る小物	107
8月18日	浮世絵摺り体験	23
8月24日	親子でつくろう「江戸ばたばた」（からくり屏風）	28
8月25日	ときめきユカタ体験	34
8月25日	ぎやまん彫りをしてみよう	18
9月7日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	101
9月28日	藍染体験教室（ハンカチ、小学生向け）	35

10月4日	歴史散歩「浅草からスカイツリー」	7
10月5日	扇子遊びをしましょう！	43
10月13日	神無月茶席	42
10月19日	オリジナルの独楽をつくろう！	30
10月20日	万華鏡をつくろう	22
10月27日	ときめきキモノ体験	30
11月2日	和算のひみつ／反古紙で折る小物	71
11月3日	歌舞伎の化粧(大人向け)	21
11月23日	ときめきキモノ体験	16
11月30日	クリスマスミニリースをつくろう	30
12月7日	ぼち袋を摺ろう	31
12月8日	歴史散歩「三十間堀を訪ねて」	19
12月8日	師走茶席	46
12月14日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	65
12月14日	扇子遊びをしましょう！	10
12月15日	「凧」づくりに参加してみませんか	27
12月21日	和算のひみつ／反古紙で折る小物	55
1月11日	和算のひみつ／反古紙で折る小物	67
1月18日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	126
1月19日	万華鏡をつくろう	20
1月25日	睦月茶席	44
1月26日	ときめきキモノ体験	16
2月22日	ときめきキモノ体験	15
2月23日	浮世絵を組み立てよう	30
3月2日	歌舞伎の化粧(大人向け)	20
3月8日	弥生茶席	45
3月22日	歴史散歩「浅草から押上へ」	16
3月22日	和算のひみつ／反古紙で折る小物	108
3月30日	ときめきキモノ体験	11
3月30日	ぎやまん彫りに挑戦しよう	20

7 ミュージアムトーク

日 時 毎週金曜日の16時～16時30分

回 数 計51回

参加者数 1,477人

学芸員による展示解説。企画展や特集展示などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介した。

[実績一覧]

日 時	担 当	コーナー・テーマ	人 数
4月5日	眞下祥幸	江戸の商業	31
4月12日	眞下祥幸	江戸の商業	13
4月19日	斎藤慎一	よみがえる東京	20
4月26日	斎藤慎一	よみがえる東京	11
5月3日	石山秀和（立正大学助教）	企画展「盛り場両国」みどころ	28
5月10日	石山秀和（立正大学助教）	企画展「盛り場両国」みどころ	26
5月17日	田原昇	江戸城と町割り	24
5月24日	田原昇	江戸城と町割り	24
5月31日	橋本由起子	市民文化と娯楽	36
6月7日	橋本由起子	市民文化と娯楽	14
6月14日	斎藤進（東京都埋蔵文化財センター）	企画展「発掘された日本列島 2013」地域展「“発掘”江戸の華—発掘された江戸時代の出土優品展—」みどころ	33
6月21日	長佐古真也（東京都埋蔵文化財センター）	企画展「発掘された日本列島 2013」地域展「“発掘”江戸の華—発掘された江戸時代の出土優品展—」みどころ	28
6月28日	小山周子	江戸の美	53
7月5日	小山周子	江戸の美	52
7月12日	丸山はるか	四季と盛り場	32
7月19日	丸山はるか	四季と盛り場	22
7月26日	杓沢博行	モダン東京	20
8月2日	杓沢博行	モダン東京	24
8月9日	落合則子 浜野又郎（ゲスト）	企画展「市民からのおくりもの 2013」みどころ	28
8月16日	杓沢博行	企画展「市民からのおくりもの 2013」みどころ	17
8月23日	西村直子	企画展「市民からのおくりもの 2013」みどころ	20
8月30日	落合則子	企画展「市民からのおくりもの 2013」みどころ	24
9月6日	吉田奈緒子	出版と情報	14
9月13日	吉田奈緒子	出版と情報	16
9月21日	遠藤あかね	江戸の美	15
9月27日	遠藤あかね	江戸の美	23
10月4日	新田太郎 阿部由紀洋	企画展「オリンピックがやってくる 1964-2020」みどころ	20
10月11日	新田太郎 阿部由紀洋	企画展「オリンピックがやってくる 1964-2020」みどころ	15
10月18日	眞下祥幸	江戸と結ぶ村と島	14
10月25日	眞下祥幸	江戸と結ぶ村と島	18
11月1日	野本禎司氏（公益財団法人徳川記念財団専任研究員）	企画展「幕末の江戸城大奥」みどころ	29

11月8日	野本禎司氏（公益財団法人 徳川記念財団専任研究員）	企画展「幕末の江戸城大奥」みどころ	40
11月15日	野本禎司氏（公益財団法人 徳川記念財団専任研究員）	企画展「幕末の江戸城大奥」みどころ	40
11月22日	野本禎司氏（公益財団法人 徳川記念財団専任研究員）	企画展「幕末の江戸城大奥」みどころ	58
11月29日	小山周子	首都東京の誕生	25
12月6日	小山周子	首都東京の誕生	40
12月13日	橋本由起子	市民文化と娯楽	17
12月20日	橋本由起子	市民文化と娯楽	13
1月3日	江里口友子	お正月スペシャルトーク（常設展示ご説明）	135
1月10日	江里口友子 杓沢博行	特集展示「東海道五拾三次」みどころ	55
1月17日	江里口友子	特集展示「東海道五拾三次」みどころ	51
1月24日	江里口友子	特集展示「東海道五拾三次」みどころ	58
1月31日	丸山はるか	芝居と遊里	45
2月7日	丸山はるか	芝居と遊里	18
2月14日	吉田奈緒子	町の暮らし	4
2月21日	吉田奈緒子	町の暮らし	15
2月28日	田原昇	江戸城と町割り	30
3月7日	田原昇	江戸城と町割り	22
3月14日	杓沢博行	特集展示「2011.3.11 平成の大津波被害 と博物館一被災資料の再生をめざして —」みどころ	14
3月21日	杓沢博行	特集展示「2011.3.11 平成の大津波被害 と博物館一被災資料の再生をめざして —」みどころ	24
3月28日	小酒井大悟	町の暮らし	29

8 ワークショップ

正月特別開館にあたり、書初めを体験するワークショップを常設展示5階体験コーナーにおいて実施し、教育普及事業の充実を図った。

① 平成26年江戸東京博物館正月特別開館関連ワークショップ 「新春！書初め体験」

日 時 平成26年1月2日（木）、3日（金）（正月無料開館日）書初め体験 11:00～15:30、
パフォーマンス書道（1回目）12:00～12:20（2回目）14:00～14:20

内 容 日本の伝統行事である書初めに親しむ機会を提供した。正月に関する言葉や、特集展示「東海道五拾三次」に関連した言葉をしたためてもらった。一人2枚書き、そのうちの1枚を館内に展示した。もう1枚は記念に持ち帰ってもらった。また、メッセージ書きコーナーを設け、来館者に今年の目標や抱負などを書いてもらい展示した。パフォーマンス書道では、大東文化大学文学部書道学科の学生スタッフによる揮毫を行った。

参加人数 448名（1月2日）、488名（1月3日）

受付 当日受付（予約不要、先着順）
参加費 無料

9 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい市民に親しまれる開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行実施を行った。

本年は、本館261名、分館197名体制により、本館では9,389件のガイド、分館では茅葺き農家燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

(1) 本館ボランティア

① 登録人数（平成26年3月31日現在）

展示ガイドボランティア 186名

ふれあいボランティア 75名（この内、展示ガイドとの兼任26名）

合計 261名

② 活動日時

展示ガイド

火曜日～日曜日（開館日） 10時～16時

毎日15人程度のグループで活動

ふれあいスタッフ

9つの班に分かれ、全体で年間60回程度の体験教室を実施

③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する案内、団体に来館者に対する事前案内

日本語、英語、ドイツ語、中国語、フランス語、ハンガール語、スペイン語

江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営

④ 対応件数（平成25年4月～26年3月）

外国語による案内件数 3,952件

日本語による案内件数 5,437件

団体事前案内件数 8件

スポット解説 140件

⑤ ボランティア対象の研修

研修実施回数 12回

研修参加者数（延べ人数） 349人

(2) 分館ボランティア

登録人数（平成26年3月31日現在） 194名

10 人材の育成

江戸東京の歴史と文化に関わる情報と博物館に対する理解を深めるため、さまざまな研修等を実施し、人材育成を図った。

(1) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込数 27校

受入者数 20名

期 間 平成25年8月28日（水）～9月4日（水）

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月28日(水)	午前	【オリエンテーション】事業企画課長挨拶、展示事業係長挨拶、実習担当者紹介、実習生自己紹介、諸注意、保険料徴収		展示事業係
			【常設展示・教育普及活動①】常設展示、教育普及、ボランティア)	講義	展示事業係
		午後	【常設展示・教育普及活動②】常設展示、教育普及、ボランティア	講義	展示事業係
			【博物館の現状と課題】博物館の現状と課題	講義	展示事業係
			【展示・広報実習Ⅰ】展示・広報実習（Ⅰ～Ⅴ）の説明、展示資料、資料情報カードの確認	講義 実習	展示事業係
			【事務連絡】事務連絡		展示事業係
2	8月29日(木)	午前	【展示・広報実習Ⅱ】展覧会基本計画の立案と広報、	講義	展示事業係
			図書室の使い方説明、担当資料に基づく展覧会基本計画の立案・チラシ案作成	実習	図書室 展示事業係
		午後	担当資料に基づく展覧会基本計画の立案・チラシ案作成	実習	展示事業係
			【事務連絡】事務連絡（たてもの園実習について）		展示事業係
3	8月30日(金)	午前	【たてもの園】たてもの園の概要	講義	たてもの園係
			たてもの園の普及事業	講義	たてもの園係
			たてもの園見学	見学	たてもの園係
			立案作成のための説明	講義	たてもの園係
		午後	実習：普及事業の立案	実習	たてもの園係
			実習：普及事業の立案		たてもの園係
			実習：普及事業の発表		たてもの園係
			実習：講評		展示事業係
4	9月3日(火)	午前	【展示・広報実習Ⅲ】展覧会基本計画及びチラシの発表、講評①	実習	展示事業係
			展覧会基本計画及びチラシの発表、講評②		

		午後	【展示・広報実習Ⅳ】展示実習の説明 展示準備（演示具選定、キャプション 作成）	講義 実 習	展示事業係
			【事務連絡】事務連絡		展示事業係
5	9月4日（水）	午前	【展示・広報実習Ⅴ】展示作業 （資料搬入、演示具搬入、展示作業）	実習	展示事業係
		午後	展示の発表、講評、片付け	実習	展示事業係
			【館長講義】館長講義	講義	展示事業係
			【学芸員実習まとめ】反省会、事業企 画課長挨拶、事務連絡		展示事業係

（2） 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

① 訪問学習の実施

博学ボランティア（7名）による歴史学習への対応

参加人数 246人

参加学校数 37校（小学校 0、中学校 34、高等学校 3、大学 0）

② 職場体験訪問の実施

参加人数 71人

参加学校数 15校（中学校14、高等学校1）

（3） その他の研修受入れ

首都大学東京現場体験型インターンシップ 平成25年8月7日（水）～8月9日（金）（3名）

VIII 施設維持管理・貸出等

1 博物館管理運営

東京都江戸東京博物館（本館及び分館）の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

(1) 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。

○平成25年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会

日時	平成25年7月4日（木）14時00分から16時00分まで
場所	事務棟2階 会議室
内容	1 平成24年度事業実績について 2 平成25年度事業計画について 3 江戸東京博物館常設展示室リニューアルの検討状況について 4 その他

○平成24年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会

日時	平成25年3月20日（木）10時00分から12時00分まで
場所	事務棟2階 会議室
内容	1 平成26年度事業計画及び予算について 2 江戸東京博物館常設展示室リニューアルの検討状況について 3 平成25年度事業実施状況について 4 その他

○東京都江戸東京博物館運営委員会委員（平成26年3月末現在）

委員長	藤 森 照 信（工学院大学教授）
副委員長	坂 本 光 一（元東京都教育委員会教育長）
委員	市 村 佑 一（江戸川大学学長）
委員	伊 東 孝（日本大学教授）
委員	薄 井 和 男（神奈川県立歴史博物館学芸部長）
委員	熊 倉 功 夫（静岡文化芸術大学学長）
委員	越 澤 明（北海道大学大学院教授）
委員	平 川 南（国立民族博物館館長）
委員	峰 岸 純 夫（首都大学東京名誉教授）
委員	吉 見 俊 哉（東京大学大学院教授）
委員	山 本 与志春（青山学院中等部長）
委員	石 橋 昌 雄（全国小学校社会科研究協議会推薦）

(2) 外部評価委員会

当該年度の事業実績につき、設定目標が効果的に実行されているか館内部において自己評価し、事務改善に結び付けるために内部評価を行うとともに、その内部評価による事業実績報告について、客観的な視点から、検証を行うため外部評価委員会を設置している。

当該年度末までの事業実績を評価の対象とするよう改善をはかり、最終の委員会は年度明けの4月に開催する。

○ 平成25年度東京都江戸東京博物館外部評価委員会

第1回

日 時 平成25年7月26日（金）午後2時から午後4時

場 所 事務棟2階 会議室

内 容 1 平成24年度外部評価総合評定について
2 平成25年度事業計画について

第2回

日 時 平成26年4月22日（火）午後16時から午後17時30分

場 所 事務棟2階 会議室

内 容 平成25年度外部評価 評定について

○ 東京都江戸東京博物館外部評価委員会委員

委員長 段 木 一 行（元法政大学教授）

委員 松 尾 正 人（中央大学教授・副学長）

委員 松 田 幸 雄（㈱TBSサービス 常務取締役）

委員 半 田 昌 之（たばこと塩の博物館学芸部長）

委員 畠 中 勇（江戸東京博物館友の会会長）

○ 平成25年度東京都江戸東京たてもの園外部評価委員会

第1回

日 時 平成25年6月27日（木）午前9時30分から午前11時30分

場 所 江戸東京たてもの園 会議室

内 容 1 平成24年度外部評価総合評定について
2 平成25年度事業計画について

第2回

日 時 平成26年5月8日（木）午後2時から午後3時30分

場 所 江戸東京たてもの園 会議室

内 容 平成25年度外部評価総合評定について

○ 東京都江戸東京たてもの園外部評価委員会委員（平成26年3月末現在）

委員長 陣 内 秀 信（法政大学教授）

委員 内 田 青 蔵（神奈川大学教授）

委員 中 島 清 文（三鷹の森ジブリ美術館館長）

委員 西 田 剛（小金井市教育委員会生涯学習部長）

委員 馬 場 憲 一（法政大学教授）

(3) コンソーシアム運営協議会

コンソーシアム構成団体間において、館の運営に関する基本事項及び重要事項の協議・決定を行う機関としてコンソーシアム運営協議会を設置し、（公財）東京都歴史文化財団グループの代表団体として、鹿島建物総合管理（株）及びアサヒビール（株）三者間の総合調整を行った。

○ 平成25年度コンソーシアム運営協議会

第1回

日 時 平成25年7月19日（金）14時00分から15時00分まで

- 場 所 事務棟 2階 会議室
- 内 容 1 平成24年度運営実績報告及び決算について
 2 平成25年度コンソーシアム運営方針（案）について
 3 平成25年度「東京都江戸東京博物館指定管理者」共同連合体協定書第9条に係る覚書」（案）について
 4 防災対策について
 5 その他

第2回

- 日 時 平成25年3月11日（火）14時から15時まで
- 場 所 事務棟 2階 会議室
- 内 容 1 平成26年度事業運営方針について
 2 平成26年度休館日について
 3 その他

2 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

また、「東京都江戸東京博物館条例」に基づき、江戸及び東京の歴史と文化の振興に資する講演会、講習会、研究会、鑑賞会等を実施する団体に対し、ホール110件、会議室75件、学習室147件、その他の施設75件、企画展示室6回254日を貸出した。

3 たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

4 野外収蔵（庭園保全管理）

江戸東京たてもの園内の庭園保全のため、植栽の維持・管理業務等を行った。

5 AVシステムの運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

「映像ホール」では、企画展や季節に合わせた館蔵映像資料のプログラム上映を行った。また、学校団体などへの事前ガイドや視察時の会場、特別展関連講座の会場、えどはくカルチャーの会場として使用した。

(1) 映像ホール

入場者実績 36,982人

	利用目的	内 容	入場者実績
1	ボランティアガイド	学校団体等に対して、入館前に館の概要等をボランティアより説明・館内の案内映像を放映	3,452人
2	視察対応	外部団体や大学、海外要人・機関等への	494人

<p>「都立駒沢オリンピック公園」 1964年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映③季節を満喫する！秋編</p> <p>「山里をあるく 夕焼小焼の里・恩方」 1992年/東京都映画協会制作</p> <p>「秋の紅葉 武蔵野散策」 1987年/東京都映画協会制作</p>
<p>11月6日（水）～12月23日（月・祝）</p> <p>企画上映①特別展「明治のこころ モースが見た庶民の暮らし」関連映像</p> <p>「お雇い外国人と東京1 エドワード・S・モース」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映②両国ゆかりの歴史・文化特集 忠臣蔵</p> <p>「うちいりのあつたまち 本所松坂町」 1977年/東京都映画協会制作</p> <p>「東京レポート 仲直り忠臣蔵」 1984年/東京都映画協会制作</p> <p>企画上映③伝統工芸を学ぼうシリーズ</p> <p>「東京の伝統工芸品 江戸押絵羽子板」 1986年/東京都産業労働局制作</p>
<p>1月2日（木）～3月2日（日）</p> <p>企画上映①特別展「大浮世絵展」関連映像</p> <p>「東京の伝統工芸品 江戸木版画」 1994年/東京都産業労働局制作</p> <p>企画上映②特集展示「東海道五拾三次 江戸の旅事情 お伊勢参りと物見遊山」関連映像</p> <p>「変化する身近な風景4 江戸の街道」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>「日本橋から六郷まで」 1962年/東京都映画協会制作</p> <p>企画上映③伝統芸能を学ぼうシリーズ</p> <p>「獅子舞と曲芸 江戸の太神楽」 1994年/東京都江戸東京博物館制作</p>
<p>3月4日（火）～5月11日（日）</p> <p>企画上映①特別展「大江戸と洛中」関連映像</p> <p>「寛永の江戸 日本橋と江戸城」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>「東京の下町と山の手」 1992年/東京都江戸東京博物館</p> <p>企画上映②行ってみよう！東京の名勝特集</p> <p>「東京の庭園1 江戸の庭園 六義園・箱根山」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>「東京の庭園2 江戸の庭園 後樂園・浜離宮」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映③季節を満喫する！春編</p> <p>「みわたせば桜桜桜」 1993年/東京都映画協会</p> <p>「春の隅田川めぐり」 1986年/東京都映画協会</p>

※企画上映①…10時30分～/13時30分～/16時30分～、企画上映②…11時30分～/14時30分～/17時30分～（土曜日のみ）、企画上映③…12時30分～/15時30分～

(2) 映像ライブラリー

設置ブース数	14台（14人利用可）
映像ソフト数	456タイトル（平成24年3月31日現在）
アクセス回数	13,924回（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

IX 広報事業

1 本館

種 別	名 称	実 績
館内案内	江戸東京博物館案内パンフレット	日本語版 196,000部 英語版 80,000部 独語版 3,000部 仏語版 10,000部 中国語版（繁体字） 6,000部 合計 295,000部
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	年4回発行 延280,000部
取材対応		2,605件
インターネット ホームページ	日本語版、英語版、中国語版、 ハングル版 キッズサイト	アクセス件数 13,735,190件
メールマガジンの 配信	江戸東京博物館ニューズレター	年12回配信 50,657通
その他の広報	すみだTOWN情報紙アベニュー 「江戸楽」他	年12回掲載
	ソーシャルメディアの活用	Twitterフォロワー数4,453人 開館10周年記念で制定された公式キャラクター「ギボちゃん」によるツイッターを即時性の高い広報ツールとして活用した。
	公式キャラクター「ギボちゃん」 の活用	館内イベントに登場させるだけでなく、「両国にぎわい祭り」、墨田区主催「すみだまつり・子どもまつり」「ご当地キャラクターフィスティバル」など外部イベントでも活動を行った。
	外国人対象の広報	フリーペーパー「Good Luck 東京」で江戸博特集（8P）、東南アジア向けTV番組「Catch Asia1Media Network」、米紙「New York Times」等で情報発信。
	チラシ・ポスターの発行（夏休み・ 正月イベント）	チラシ 80,000部 ポスター 300部

2 分館

種 別	名 称	実 績	
館内案内 ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	日本語版	180,000部
		英語版	6,000部
		中国語版(簡体字)	1,800部
		韓国語版	1,800部
		合計	189,600部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回	延50,000部
	イベント案内	年4回	延372,000部

3 読売新聞「江戸博 蔵めぐり」掲載実績 (朝刊 金曜日掲載)

回	掲載日	執筆者	資料名	タイトル
1	4月5日	真下祥幸	醤油屋番付	醸造元 ずらり112か所
2	4月19日	丸山はるか	東都名所両国回向院境内全図	にぎわい見せる勸進相撲
3	4月26日	齋藤慎一	松平容保上書写	領民の赦免訴えた謝罪書
4	5月17日	丸山はるか	大豹蛮虎戯	渡来動物の「見世物」人気
5	5月24日	橋本由起子	東京府金龍山浅草寺 五重塔修復之図	眺望楽しみ粋な足場
6	5月31日	吉田奈緒子	江戸名所百人美女の内 御茶の水	日常に見える当時の流行
7	6月7日	杳沢博行	文化人形	抱きしめた 憧れのモダン
8	6月21日	遠藤あかね	無色ねじり提手付ちろり	暮らし彩ったガラス器
9	6月28日	阿部由紀洋	自動式電気釜 ER-5型	実演販売で大ヒット
10	7月5日	田原昇	吉野山文台・硯箱	美しい装飾 形見分けの品
11	7月19日	橋本由起子	吾妻新橋金龍山真景及比木造富士山縦覧場絵而浅草繁栄之全図	標高32メートル はるか西に本物
12	7月26日	井上美奈子	松竹少女歌劇グラフィック	乙女が創る華やか舞台
13	8月23日	市川寛明	百種接分菊	たった1本で百花繚乱
14	8月30日	田中実穂	松葉蘭譜	生きた化石 カラー図鑑
15	9月6日	吉田奈緒子	桜姫全伝曙草紙	怨霊のたたり 衝撃の挿絵
16	9月27日	阿部由紀洋	国立競技場観客席の平面図	五輪開催へ 拡張の記録
17	10月11日	小山周子	Shell Mounds of Omori (大森貝塚)	近代考古学 広めて活動
18	10月18日	遠藤あかね	東京オリンピック日本代表選手用公式ブレザー	赤い色彩 鮮烈な印象
19	11月1日	田原昇	奥奉公出世双六	大奥の実状 鋭く描写
20	11月15日	小山周子	Japan Day by Day (日本その日その日)	庶民の暮らし 生き生きと
21	11月22日	真下祥幸	嘉祥菓子(復元)	職人の技術の粋 味わう
22	11月29日	小山周子	Catalogue of Morse Collection of Japanese Pottery	東京散策で見つけた魅力
23	12月6日	橋本由起子	絵はがき「(南) 凌雲閣ヨリ浅草公園及比蔵前方面ヲ望ム」	移り変わる街 切り取る

24	12月20日	丸山はるか	流行しりとりおどり一人げいこ	人気の遊び 風刺交えて
25	1月10日	江里口友子	三保松原図	広重 10歳にして富士名所
26	1月17日	杳沢博行	文政十三寅年閏三月中伊勢参宮の老若宮川渡船と往来人物高	「御蔭参り」 念願の旅
27	1月31日	我妻直美	尾張町恵美須屋店頭図	客寄せの工夫 今も昔も
28	2月7日	我妻直美	当時全盛美人揃若松屋内若鶴	立て膝にほのかな色気
29	2月21日	我妻直美	東京二十景 芝増上寺	伝統と情緒 じんわり
30	2月28日	小酒井大悟	武蔵小金井桜順道絵図	花見客誘う「観光ガイド」
31	3月7日	阿部由紀洋	時局日誌	船中の子供 新聞書き写す
32	3月21日	田原昇	都筑十左衛門宅普請絵図	与力屋敷 トイレ5つ
33	3月28日	齋藤慎一	白天鷺絨地胴服	松平家ゆかりの人物所用